

「外国人雇用状況」の届出状況(令和7年10月末時点) 【別添1】 【概要版】

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について

- 外国人労働者数は7,324人。
前年同期比で872人(13.5%)増加。

○ 国籍別の状況

- ・ベトナム 2,280人(全体の31.1%) [前年同期比63人(2.8%)増加]
- ・インドネシア 1,176人(同 16.1%) [同 255人(27.7%)増加]
- ・中国 1,017人(同 13.9%) [同 39人(4.0%)増加]

○ 在留資格別の状況

- ・技能実習 3,231人(全体の44.1%) [前年同期比2.1%増加]
- ・専門的・技術的分野 2,014人(同 27.5%) [同 34.3%増加]
- ・身分に基づく在留資格 912人(同 12.5%) [同 6.9%増加]

「技能実習」の構成比は、全国における構成比(19.4%)と比べると高い。

○ 地域別の状況

- ・徳島地域 3,513人(全体の48.0%) [前年同期比17.2%増加]
- ・鳴門地域 1,451人(同 19.8%) [同 12.9%増加]
- ・吉野川地域 776人(同 10.6%) [同 12.8%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・「30人未満事業所」が最も多く、外国人雇用事業所数全体の44.9%を占めている。
- ・「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の36.1%)と比べると高い。

2 事業所の状況

事業所全体の状況について

- ・ 外国人を雇用している事業所は1,400所。
前年同期比で101所(7.8%)増加。

○ 地域別の状況

- ・ 徳島地域 651所(全体の46.5%) [前年同期比7.6%増加]
- ・ 鳴門地域 328所(同23.4%) [同 11.6%増加]
- ・ 吉野川地域 158所(同11.3%) [同 9.0%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・ 「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の64.6%を占めている。
- ・ 「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(63.1%)と比べると高い。

3 産業別の状況

- ・ 外国人労働者が就労している業種を産業別にみると、「製造業」が外国人労働者全体の31.6%を占め、次いで「医療、福祉」が15.7%、「農業、林業」が12.1%、「卸売業、小売業」が11.8%となっている。
- ・ 外国人労働者を雇用する事業所数を産業別にみると、「製造業」が18.4%を占め、次いで「農業、林業」が14.7%、「建設業」「卸売業、小売業」が13.9%となっている。
- ・ 「製造業」の構成比は全国における構成比(外国人労働者数全体の24.7%、事業所全体の15.7%)と比べると高い。

4 派遣・請負の状況

- ・ 外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
58所(事業所全体の4.1%)
- ・ 労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
472人(外国人労働者全体の6.4%)